産業応用部門大会の原稿フォーマット
形式をそろえるための情報

計測制御開発(株)　○才須 太郎，際巣 花子

Information to Uniform Format Style on Manuscript of
SICE Symposium on Industrial Application Systems

Taro SAISU, Hanako SAISU, Instrument and Control Development Co. Ltd.

概要: この文書には計測自動制御学会産業応用部門の部門大会における講演原稿の形式が書かれています．これを参考に原稿をご用意下さい．ただし産業ネットワーク・システムシンポジウム，産業シンポジウムおよび制御部門との合同企画ＯＳでPowerPointを講演原稿とされる場合は，この限りではありません．

# はじめに

部門大会の発表論文原稿の形式は，なるべくそろえた方が見栄えがよいので，執筆者の方は，これに準拠した原稿を作成されるようお願いします．この文書ファイル自身をテンプレートとしてお使い下さい．見出し等には，スタイルの機能が使われています．

論文は１件２~４ページでお願いします．送付方法は，最後の付録に書かれています．

# 全体の構成

論文全体は，

1. 表題，著者名等，
2. 概要，
3. 本文，
4. 謝辞，
5. 参考文献リスト，
6. 付録

から構成します．4. および 6. は必要な場合のみ含めて下さい．以下，各構成要素の形式について述べます．

# 表題，著者名等

原稿1枚目の先頭には，論文題目，もしあれば副題，著者所属と著者名一覧を一段組みで書いて下さい．講演者には日本語氏名の先頭に○印を付けてください.

題目，副題は14ポイント，中央揃え．著者名等は12ポイント右揃えとしてください．著者多数の場合は，複数行に渡ってもかまいません．また，副題が長い場合には，副題のみ12ポイントでもかまいません．

表題や著者名がそれぞれ複数行にわたる場合は，改行を「段落にならない改行」にしてください．シフトキーを押しながらリターンキーを押すと「段落にならない改行」ができます

# 概要

200字程度の論文概要を書いて下さい．英文100語程度でも結構です．論文全体のおおよその中身が分かるように記述して下さい．英語の場合、「概要」→「Abstract」に変更ください．

# 本文

10ポイント，2段組で書いて下さい．本文中の図表や式については，以下のようにして下さい．

## 図および写真

図や写真には，Fig.1，Fig.2，といった通し番号を付け，図の下に中央揃えで図の番号とタイトル，必要なら簡単な説明を書いて下さい．



Fig.1 Framework of Interactive Evolutionary Computing

## 表

表には図とは別に，Table 1，Table 2，という具合に通し番号を付け，表の上に中央揃えで表の番号とタイトル，必要なら簡単な説明を書いて下さい．

## 式

式は左揃えで，必要ならその右端に右寄せで式の通し番号を括弧つきで記入して下さい．式1はその例です．

 (1)

数式エディタを使うときには，フォントサイズにご注意下さい．

# 参考文献リスト

文献引用の出現順に番号をつけ，その順に並べたリストを書いて下さい．引用箇所には番号を[]で囲み，[1]のように記述して下さい．

参考文献

1. Wiener, N.: Cybernetics – 2nd edition, MIT Press, 1965.

原稿の送付

原稿は**2022年10月4日（火）必着にて**，下記ファイルをE-mailでお送り下さい．なお，**原稿の提出をもって，講演論文の著作権は，公益社団法人 計測自動制御学会に帰属することを承諾したものといたします**．

* Wordファイル原稿の場合

**ページ番号を消去**した原稿の「Wordファイル」と「PDFファイル」．

余白：上下２３ｍｍ，左右２０ｍｍ

ページ番号はフッターセクションに書かれています．ページ番号の消去はつぎにより可能です．

フッターをダブルクリックして，ページ番号の数字をマウスで選択し delete キーで消去してください．

　PDFファイルに変換する際には図・写真の画質にご注意ください．

　フォーマットなど軽微な修正は提出されたWORDファイルで修正し講演論文集に掲載することがあります．ご了承ください．

* PowerPointファイル原稿の場合

「PowerPointファイル」のみ．

止むを得ずPDFファイルで提出される場合は，A4縦で１ページ当たり６枚のスライドを入れて下さい．

 PDFファイルに変換する際には図・写真の画質にご注意ください．

ファイル名のつけ方

下記を参照して講演するシンポジウム・OSの頭文字を先頭にし、アンダーバー「\_」を入れて筆頭者の英文氏名をファイル名とします．文字は全て半角とします．

例）一般講演で発表する才須太郎のwordファイル

 G\_TaroSAISU.docx

* 一般講演 　　　G
* 制御部門との合同企画ＯＳ 　　　J
* 流体計測制御シンポジウム 　　　F
* 産業ネットワーク・システムシンポジウム　N

原稿の送付先

原稿詳細および送付先は，下記，担当者および各シンポジウム担当部会主査に確認の上対応下さい．

* 一般講演

：東京電機大学　藤田壽憲

E-mail: tfujita@mail.dendai.ac.jp

* 制御部門との合同企画ＯＳ

：横河電機　伊藤章雄

E-mail: mailto:Akio.Itou@yokogawa.com

* 流体計測制御シンポジウム

：流体計測制御部会　川嶋健嗣

E-mail : kenji\_kawashima@ipc.i.u-tokyo.ac.jp

* 産業ネットワーク・システムシンポジウム

：住友重機械工業　加藤敦

E-mail: atsushi.kato@shi-g.com

◆備考：この書式は2002年度産業応用部門大会のために、創価大学の畝見先生が作成されたものを元にしています．